

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	沖縄振興特定事業推進費			担当部局庁	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)			作成責任者			
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和3年度	担当課室	企画担当参事官室			参事官 畑山 栄介			
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針(平成24年5月 内閣総理大臣決定) 沖縄振興計画(平成24年5月 沖縄県)						
主要政策・施策	沖縄振興、地方創生			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄振興特定事業推進費補助金は、沖縄の直面する課題に迅速・柔軟に対応するための事業等の実施に要する経費に充てるため、国が沖縄県内の市町村及び市町村と密接に連携して取り組む民間事業者に対して、補助金を交付することにより、沖縄の実情に即した事業の的確かつ効果的な実施を図ることを目的とする。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	沖縄振興特別推進交付金の対象事業(沖縄の振興に資する事業及び沖縄の特殊事情に起因する事業)のうち、以下の要件を満たすもの①機動性要件(多様な地域課題・政策課題に対応するため迅速・柔軟に対応する必要がある事業等)②先導性要件(他の市町村にも広げていくことが望ましい事業)又は広域性要件(事業の効果が当該市町村にとどまらず広域に及ぶと見込まれる事業) 補助対象者:市町村及び市町村と密接に連携して取り組む民間事業者 補助率:8/10以内										
実施方法	補助										
予算額・執行額(単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	3,000	5,500	8,500	8,000				
		補正予算	-	500	1,500	-					
		前年度から繰越し	-	-	2,929	2,541	-				
		翌年度へ繰越し	-	▲ 2,929	▲ 2,541	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	0	571	7,388	11,041	8,000				
	執行額		0	447	5,097						
	執行率(%)		-	78%	69%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	13%	73%						
令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	沖縄振興特定事業推進費補助金		8,500	8,000							
	計		8,500	8,000							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度
	今後、市町村等が行う事業の成果目標の事後評価結果などを参考に、目標値を設定する。		事業の成果目標の達成率 成果実績(%):(達成又は概ね達成事業数/各年度評価対象事業数)×100		成果実績	%	-	-	-	-	-
					目標値	%	-	-	-	-	-
					達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)											
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込
	補助金の交付決定事業数				活動実績	件	-	31	25	-	-
					当初見込み	件	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	交付決定額(X)/交付決定事業数(Y)				単位当たりコスト	百万円	-	110	200	-	
計算式					X / Y	-	3,397/31	4,996/25	-		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	9. 沖縄政策
	施策	9. 沖縄振興に関する施策の推進

事業所管部局による点検・改善

		項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	県及び市町村が事業を計画的かつ継続的に実施するための財源として、客観基準に基づき毎年度安定的に配分される沖縄振興特別推進交付金を補完し、多様な地域課題・政策課題への迅速かつ柔軟に対応する事業等を支援することを目的とした、国民や社会のニーズを反映した内容である。
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	事業を機動的に推進するための財源として、沖縄振興特別推進交付金を補完し、臨機応変な財源捻出が困難な市町村に交付するため、国が実施する必要がある。
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	沖縄振興特別推進交付金を補完し、事業を機動的に推進する目的を達成する手段として必要かつ適切であり、かつ優先度の高い事業である。
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	交付要綱に沿って支出先を選定しており、妥当である。
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱で定める補助率の範囲内において事業実施主体(市町村等)へ交付を行っており、妥当である。
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業実施主体(市町村等)において適正に算定されるものである。
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	本補助金の対象事業の選定に当たり、事業スキームの合理性・妥当性についても留意して審査している。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業実施主体(市町村等)において適正に判断、実施されるものである。
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	交付申請額が予定より下回ったため。
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	成果指標には、事業実施主体(市町村等)が設定した事業ごとの成果目標の達成度を設定しており、市町村等が沖縄の振興に資する事業等であって、沖縄の直面する課題に迅速、柔軟に対応するための事業等に交付する本事業の趣旨に鑑み、適切な指標となっている。なお、成果実績については、事業実施主体(市町村等)の事後評価に基づき、国において調査・集計する。
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業実施主体(市町村等)において適切に判断し、活用されるものである。
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
事業連		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
点検・改善結果	点検結果	・本補助金の交付要綱上、事業実施主体(市町村等)は交付対象事業等の成果目標を設定するとともに、成果目標の達成状況について評価を行い、大臣に報告することが求められている。 ・現在、事業実施主体(市町村等)において、令和元年度及び令和2年度事業に関し、交付対象事業等の成果目標に対する達成状況について評価が行われているところであり、内閣府においては、今後、事業実施主体による点検結果を取りまとめる予定である。		
	改善の方向性	・事業実施主体(市町村等)は事業終了後、効果検証を適切に実施し、大臣に報告することとしているところである。内閣府としては、補助金の効果的な活用に向けフォローアップを行ってまいりたい。		

外部有識者の所見

「交付要綱に沿って支出先を選定しており、妥当である。」とのことだが、シートからは、「B.合同会社ソルファコミュニティ」が補助金交付先として選定された経緯が不明であり、他の受給可能な事業者の有無を含め説明されたい。

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

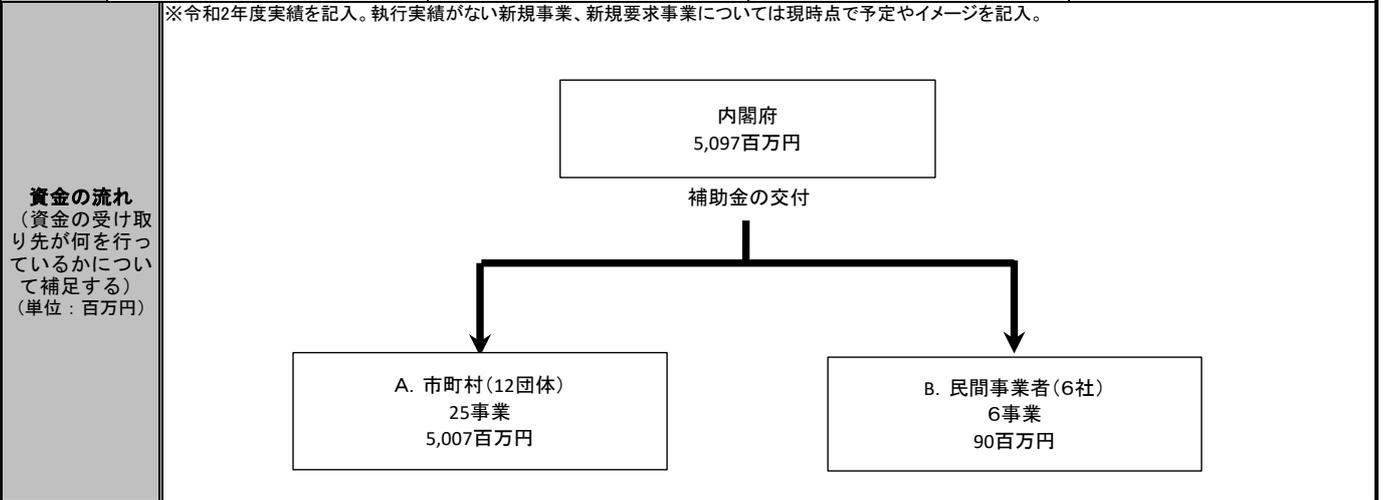
沖縄振興特定事業推進費の民間事業については、①沖縄の振興に資するものであること、②沖縄の特殊性に基因するものであること、③公共性を満たすものであること、④先導性又は広域性を有するものであることすべての要件を満たす事業が補助対象となる。制度についてHP等でも周知を行ったうえ、申請があった事業に対しては当該要件を満たしているかを厳正に審査し、支出先を選定している。
次年度以降も制度を継続する場合には、有識者の所見も踏まえ、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確な検証に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	-			
令和元年度	内閣府 - 新31 - 0004			
令和2年度	内閣府 - 新02 - 0099			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 沖縄市			B. 合同会社ソルファコミュニティ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	沖縄アリーナ整備事業	3,713	補助金	おきなわ産パニラピーズ生産体制整備事業	35	
計		3,713	計		35	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖縄市	5000020472115	沖縄アリーナ整備事業 他2件	3,794	補助金等交付	-	--	
2	名護市	1000020472093	ワーケーション拠点施設整備事業 他2件	384	補助金等交付	-	--	
3	那覇市	3000020472018	沖縄の食の魅力発信拠点整備事業 他3件	366	補助金等交付	-	--	
4	八重瀬町	4000020473626	八重瀬町スポーツ観光交流施設整備事業	165	補助金等交付	-	--	
5	宜野湾市	2000020472051	公営墓地整備事業 他5件	109	補助金等交付	-	--	
6	うるま市	5000020472131	「おきなわの歴史・文化体験」関連施設整備事業(現代版組踊の体験・発信拠点)	106	補助金等交付	-	--	
7	浦添市	1000020472085	「古琉球」関連施設整備事業(浦添城跡・伊祖城跡周辺地域) 他1件	36	補助金等交付	-	--	
8	北部広域市町村圏事務組合	4000020478385	「やんばるの歴史・文化・自然」周遊促進事業	19	補助金等交付	-	--	
9	国頭村	5000020473014	「やんばるの自然」関連施設整備事業(やんばる学びの森周辺地域)	16	補助金等交付	-	--	
10	今帰仁村	3000020473065	「やんばるの歴史・文化」関連施設整備事業(今帰仁城跡周辺地域)	8	補助金等交付	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	合同会社ソルファココミュニティ	5360003006020	おきなわ産バナラビーンズ生産体制整備事業	35	補助金等交付	-	--	
2	久茂地都市開発株式会社	1360001000838	観光ブランド向上に向けた全天候型屋外イベント会場整備事業	14	補助金等交付	-	--	
3	琉球びんがた事業協同組合	2360005000651	「古琉球」関連施設整備事業(染物・織物の体験・発信拠点)	13	補助金等交付	-	--	
4	那覇伝統織物事業協同組合	8360005000646	「古琉球」関連施設整備事業(染物・織物の体験・発信拠点)	13	補助金等交付	-	--	
5	那覇商工会議所	3360005000502	中小企業振興会館整備事業	13	補助金等交付	-	--	
6	琉球環境株式会社	6010001154136	赤土流出防止対策事業	1	補助金等交付	-	--	